



# 奥州市のILC誘致に向けた取組みについて

奥州市総務企画部政策企画課ILC推進室長 朝日田 倫 明

## 【はじめに】

ILC実現に向けた奥州市の取組みはILCの前身であるJLC（ジャパン・リニア・コリアター）構想の頃、旧水沢市が岩手県の関係部署へ職員を派遣したのが始まりでした。

その後の膠着期間を経て、研究者がILCの設計や建設候補地選定に着手し、超党派国会議員による議連が発足されるなど、誘致に向けた動きが活発になってきたことを受けて取組みを本格化しています。

以下、主な取組みを紹介します。

## 【ILC推進室の設置】

奥州市では、総務企画部政策企画課内に設置したILC推進室において、ILC計画の周知と受入気運の醸成やILCの実現を見据えた環境整備に向け、岩手県ほか関係機関と連携し取り組んでいます。

昨年10月には、アメリカ出身のILC国際化推進員を採用し、英語による情報収集・発信や海外研究者の視察対応、外国人としての視点を活かした地域の国際化の支援を行っています。

## 【情報発信の充実】

### ・市広報誌を活用した情報発信

市の広報に掲載したILC関連記事は、平成21年5月発行お知らせ版のILC講演会の案内が最初で、平成24年2月号では4頁にわたってILCを詳しく解説する特集記事を掲載したほか、同年4月号から「希望のひかり」と題したILC情報コーナーを隔月でスタートし、平成25年4月以降毎月掲載に拡充しました。

さらに今年4月からは「希望のひかり」と、ILC国際化推進員が自分の目線で気付いたこと、感じたことを伝えるコーナー「トマス・アインナのアんなことこんなこと」を隔月で掲載し、

ILC関連記事に限らず、国際化の視点で情報発信をしています。

### ・HP特設サイトの開設など

より多くの皆さんに、ILCについて理解を深めていただくとともに、国内研究者や海外の方々にも奥州市のまちなみや取組みを知っていただけるよう、平成25年4月に「奥州市ILCウェブサイト」を開設しました。このサイトではILC関連情報のほか、奥州市の位置、人口、地勢、公共機関、レジャー施設などの情報も掲載しており、英語でも表示できます。

また、奥州市で暮らす外国人が市内のスポットを紹介する動画「Oshu For You」も掲載し、奥州市の魅力を発信しています。

併せてフェイスブックやツイッターでも関連情報を発信しています。

### ・パンフレット、ステッカーの活用など

岩手県南地域を紹介する日本語版・英語版

リーフレット「希望の光」や、JLC当時の開発イメージを参考に作成した「ILCを核とした国際科学技術研究圏域の建設と奥州市のまちづくり」パンフレットを活用し、視察等で訪れる研究者や、講演会等のイベントに参加する方々へ、ILC建設候補地圏域や奥州市の構想を紹介しています。



広報誌に連載の市のILC国際化推進委員トマス・アンナさんのコーナー

また、市内の観光名所やまつりの紹介に加え、ILCの建設候補地の位置や解説を盛り込んだ観光ガイドマップを、日本語、英語、中国語（繁体語・簡体語）、韓国語の5言語で作成しており、観光施設等での配布や、イベント等で活用していく予定です。

さらに、昨年度作成したILCの早期実現をアピールするステッカーを、希望者へ無料で配布しています。

このほか、市内の駅や市庁舎では、懸垂幕や横断幕、のぼりを設置し、ILC計画をPRしています。

【市内各地での出前講座】

奥州市では、市民の皆さんがILC計画への理解を深め、応援していただけるよう、出前講座を行っています。地区振興会や自治会、老人クラブなど10人以上の団体からの要請があれば、職員が講師となり、ILCを分かりやすく説明。ILCに対する不安や質問にも丁寧に対応しています。

平成23年度から始めたこの出前講座は、これまでに約50回を数えます。

【未来を見据えて、子どもたちへ】

・出前授業

ILC計画の実現を見据え、将来、市の中核を担う若い世代にILC計画への理解を深めてもらい、今後の市の取組みを推進する人材を育成することを目的として、市内の全中学校で、2年生を対象に出前授業を実施しています。

この授業ではILCだけでなく、奥州市にあ



市内中学校での出前授業

る国立天文台水沢V L B I観測所(※)の協力を  
いただいて天文台の研究内容も紹介しています。

※V L B Iは超長基線電波干渉計の英語略称で、奥州  
市をはじめ国内4カ所に設置した口径20メートルの  
電波望遠鏡の観測データを合成して、天の川銀河の  
天体位置を高精度で計測する観測を進めています。

### ・中学生科学体験研修

最先端の科学技術と研究者の努力に触れるこ  
とで科学に対する興味・関心を高め、科学的な  
知識や科学的思考力等の資質・能力を向上させ  
るとともに、次代を担うリーダー的人材の育成  
を図る目的で、中学生による科学体験研修を平  
成15年度から継続して実施しています。

研修では事前学習を重ね、KEK(高エネ  
ルギー加速器研究機構)、JAXA(宇宙航空研  
究開発機構)を訪問。事後学習と報告会も開催  
しており、今年度も31名が参加する予定です。  
昨年度の研修では、参加を希望した理由が、  
I L Cを知って科学に興味を持ったという生徒  
も多く、出前授業の成果が表れています。

### 【様々な形の市民連携】

#### ・奥州市I L C推進連絡協議会

I L C誘致活動の支援や、計画の理解促進に



市内中学生によるKEK視察の様子

よる誘致機運の醸成を担う市内組織として、平  
成24年7月に奥州市国際リニアコライダー推  
進連絡協議会(現・奥州市I L C推進連絡協  
議会)を設立しました。

この協議会は予算を持たない団体で、市と一  
体となった活動を展開しています。現在の会員  
は59団体ですが、さらなる会員増に取り組み  
ています。

この協議会のほか、奥州市を拠点にI L C実  
現を踏まえた環境づくり、人材育成に積極的に  
取り組んでいる団体を紹介します。

### ・いわてI L C加速器科学推進会議

県内の法人・個人を会員に、I L Cの実現と  
国際科学研究所立地を視野に入れた地域づくり  
や理科教育など科学的風土の醸成を目的として  
平成24年1月に設立されました。N P O法人  
イーハトーブ宇宙実践センターに事務局を置  
き、講演会や効果的な教育教材の作成など、草  
の根の活動を展開しています。

先の7月25日には、I L C実現を踏まえたま  
ちづくりを考えるシンポジウムを市文化会館  
(Zホール)で開催しました。

### ・N P O法人イーハトーブ宇宙実践センター

奥州宇宙遊学館を拠点に、天体観望や宇宙科  
学の実地指導と情報の提供等に関する事業を行  
い、宇宙及び天文学、科学技術、文化、歴史、  
農業などの分野における人材育成のための基礎  
的学習活動に寄与することを目的に創設された  
法人です。

近年は、宇宙の謎の解明が期待されるI L C  
の啓発活動に積極的に取り組んでおり、市の出  
前授業は、同法人に委託して実施しています。

### ・奥州市国際交流協会

多文化共生のまちづくりを推進する同協会は、  
海外研究者の来訪時の通訳・おもてなしの対応

やイベント等で市と連携しているほか、ILC実現に向けたまちづくり、人づくりについても積極的に情報の収集・発信に取り組んでいます。

また、外国人市民の増加を見据え、市内の県立病院と協力して医療通訳の体制を構築するなど先導的な取り組みを行っています。

#### ・ILCサポート委員会

市内在住外国人が中心となって立ち上げた組織で、ILC計画が実現した際の、地域の国際化に資するための活動を展開しています。

海外研究機関の広報担当者が来訪した際には生活環境について意見交換を行い、6月の商人まつりにおいては市協議会と連携してILCをPRしました。また、「Oshu For You」にもメンバーが出演し、奥州市をPRしています。

#### 【奥州市の新たな取り組み】

今年度実施する予定の主な取り組みを紹介いたします。

#### ・「奥州市ILCまちづくりビジョン」策定

ILCを奥州市のまちづくりに活かすための地域の将来像として策定することとしており、7月5日の市民参加型ワークショップを皮切りに、分科会及び策定委員会を開催し年内に取り

まとめる予定です。

#### ・出前授業の拡大

昨年度から実施している出前授業ですが、今年度新たに小学5、6年生対象の授業も開始しました。今年は7校で開催を予定しています。

#### ・観光部門との連携

水沢駅舎内の観光案内所無人化にともない設置された50インチディスプレイ及びタッチパネル式情報端末でILC関連情報を放映することとしています。同機器は水沢江刺駅にも設置さ



「商人まつり」でILCをPR

れる予定です。

#### ・国体プレ大会等でのPR

7月4日のカヌー競技で始まった国体プレ大会において、選手・役員、観客へのリーフレット配付等によるPRを展開しています。

以上、紙面の都合で限定して紹介させていただきました。

#### 【終わりに】

6月25日の有識者会議で、ILC誘致の是非を判断すべき時期や種々の課題が示されたことで国の速やかな対応が期待されますが、「国民の理解を得ることが重要」との提言からも、全国的な認知度を上げるための施策が今後さらに重要になると考えております。

奥州市では、国の誘致判断を後押しするため、岩手県、宮城県、一関市、気仙沼市ほか関係機関との連携を強めたPR活動を展開するとともに、国が誘致を表明した際に速やかに対応できるように、市の将来ビジョンを策定し準備を進めてまいります。

県民の皆様のご理解ご協力をお願いします。